

12月議会一般質問から

コリンスCC

平成7年12月30日をすぎ、コリンスCCは、5度目の開発許可変更届を提出しました。資金的にゴルフ場造成の見通しが無いのに、県がコリンスCCの開発許可変更届を受理するのはおかしい。開発許可の見直しを含めて、県が資金計画等を審査することを、要請するよう町長に強く要望しました。

町内巡回バス実現

埼玉県内13市町村で、自治体による循環バスが実現しています。川越市では、車イス用のリフト付きのバスが走っています。

12月議会で早期実現を要望したところ、1月22日の臨時議会で、24人乗りリフト付きバス購入の予算700万円が計上されていました。早い対応にびっくり。

バス1台で1日4、5回巡回する計画ですがバス2台を購入して、1時間1本程度だと便利。



十二月議会の報告が、三月議会の直前になってできあがりしました。定例議会は三ヶ月毎に開催されるのですが、住専の問題、介護保険の問題、学習しなくては、議会で発言できないことばかりです。

きかい、議会

嵐山町議会が地方議会の中で最初に山口敏夫氏の衆議院議員辞職勧告の決議文を全会一致で決定しました。辞職勧告の決議を行うにあたって、議会は、当惑気味。

地元ですから、議員の中には山口敏夫氏の後援会の人もあります。山口敏夫氏が結婚の仲人であった人もいたようでした。義理を欠く訳にも行かないが、また正式に山口敏夫氏の辞職勧告が提案された以上、否決する訳にも行かない。そこで、裁決の方法で乗り切りました。通常議案を裁決するときには、議長が「賛成の諸君の挙手をお願いします。」といえます。今回、「山口敏夫氏の衆議院議員辞職勧告決議文を決議することに御異議ありませんか。」とはかり誰かが「異議なし」と応えました。誰が「山口敏夫氏の衆議院議員辞職勧告」に賛成したか、わからないよう裁決を行ないました。